

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
61211	市民との対話事業	市民部	タウンミーティング課	シートB	2

令和3年度	部局等名	市民部	課等名	タウンミーティング課	担当グループ名	市民との対話事業	連絡先	948-6333				
	部等長名	田中 教夫	課等長名	川崎 俊彦	リーダー名	主幹	古川 佳江	担当者名	副主幹	山本 早千奈	主査	佐伯 保範
令和2年度	部局等名	市民部	課等名	タウンミーティング課	担当グループ名	市民との対話事業	連絡先	948-6333				
	部等長名	田中 教夫	課等長名	森本 智恵	リーダー名	主幹	古川 佳江	担当者名	主査	山本 早千奈	主査	西山 陽一朗

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	61211	市民との対話事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	222	個別プログラム	笑顔を育むプログラム	
政策	市民参画を推進する				重点プロジェクト	おがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト	
施策	市民参画による政策形成				主な取り組み	市民との対話による政策形成	
主な取り組み	市政参画機会の充実		市長公約				
取り組みの柱	市民との対話の推進						
総合戦略	4614	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)				
		政策	⑥誰もが活躍できるふるさとづくりの推進				
		施策	①市民主体・地域特性を生かしたまちづくり				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	1:有り				

根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	①タウンミーティング 市民との直接対話を通じ、地域の魅力や課題等について認識を共有し、市民主体のまちづくりを進めることを目的とする。 ②笑顔のまつやま まちかど講座 市民に市の取り組みを知ってもらうとともに、市民と職員の相互理解を深め、市民からの意見や提言を行政に反映させることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	市長公約等に基づき、平成22年度から実施している。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	①タウンミーティング 対象:市内41地区の地域住民(45人程度)、世代別・職業別タウンミーティングのテーマの対象となる方 内容:市長が地域にお伺いして、地域の魅力や課題などについて、意見交換を行う。 ②笑顔のまつやま まちかど講座 対象:おおむね10人~30人の市民グループ(市内に在住、または通勤・通学する人を主とする集まり)。 内容:市民グループの申し込みにより、市職員が市民の集う場に出向き、市政の取り組みについて説明と意見交換を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 22	~	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	広報広聴費	R2 予算措置時期	当初
				R元年度			R2年度		R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				967			867		781	
決算額(B)(単位:千円)				823			680		0	
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳			国支出金	0			0		0	
			県支出金	0			0		0	
			市債	0			0		0	
			その他	0			0		0	
			一般財源	823			680		781	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				時間外勤務手当:380千円 チラシ作製費(まちかど講座):26千円			時間外勤務手当:430千円 チラシ作製費(まちかど講座):50千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			144		187	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	①タウンミーティング…開催数 4回 ②笑顔のまつやま まちかど講座…開催数 80回					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	タウンミーティングでは、参加者から「市政や地域のことを考えるようになった」「まちづくりに協力したい」といった声をいただき、笑顔のまつやままちかど講座では、感染症拡大防止に努めながら、可能な限り講座を実施し、市民の皆さんと意見交換をすることができた。 市民との対話を重ねることにより、市民主体のまちづくりの基盤が整ってきている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市民との対話を通じて、市民主体のまちづくりの基盤が着実に整ってきているため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症が全国的に広がっている状況である。					
R3年度の目標	市民との対話事業を実施する中で、幅広い世代の方から、より多くの意見を集約し政策形成につなげる。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	①タウンミーティング タウンミーティングの開催 ②笑顔のまつやま まちかど講座 84テーマを用意し、申し込みにより講座を実施		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策 感染症の発生状況等を注視し、感染症拡大防止に努めながら、事業を実施する。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	タウンミーティングの開催回数	回	目標値		8	8	8	8	目標値	8	
			実績値	3	8	4		達成年度	R3年度		
		%	達成度		100	50					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	概ね月1回(議会開催月を除く)のペースで開催している。				
	本指標の設定理由	市長と市民の皆さんとの直接対話を通じて、お互いの理解や連携を深める指標となるため。									
	まちかど講座実施回数	回	目標値		140	145	150	155	160	目標値	160
			実績値		154	197	80		達成年度	R4年度	
		%	達成度		110	136	53				
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	実績を踏まえ、毎年5回の増を見込んだ値とする。 ※第6次総合計画(後期基本計画)の目標値と同値。				
	本指標の設定理由	市職員と市民の皆さんの意見交換を通じて、協力しあいながらまちづくりを進める指標となるため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)	タウンミーティング実施後アンケートによる参加者満足度	人	目標値		86	86	86	86	目標値	86	
			実績値	93	91	95		達成年度	R3年度		
		%	達成度		106	110					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	平成23～30年度の参加者満足度の平均値(86%)が高いことから。その水準を維持する。				
	本指標の設定理由	市民と行政の信頼関係の醸成につながる指標となるため。									
	まちかど講座参加人数	人	目標値		4,200	4,350	4,500	4,650	4,800	目標値	4,800
			実績値		5,676	6,409	2,720		達成年度	R4年度	
		%	達成度		135	147	60				
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	参加人数30人に講座実施目標回数を乗じた値とする。				
	本指標の設定理由	市民意識の向上につながる指標となるため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	コロナ禍の中で、開催の中止や延期をしたことがあったものの、感染症の発生状況等を注視し、可能な限り実施することができた。									
	成果指標	まちかど講座は、コロナの影響で開催を見合わせたり、申込み数が少なかつたりして、目標には届かなかった。タウンミーティングの参加者満足度は、目標を大きく上回る事ができた。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											